

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 4

(2000.9.20発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

—— 10月は職業奉仕・米山月間です ——

クラブ会長・幹事の皆さんへ.....	1
職業奉仕月間によせて.....	3
米山月間によせて.....	4
記念式典報告.....	5
記念式典報告・地区委員会報告.....	6
地区委員長報告.....	7
地区委員会報告.....	9
第2760地区ニュース.....	10

目次

20世紀からの贈り物.....	11
ガバナー公式訪問報告.....	13
インターアクトクラブ海外研修報告.....	15
海外研修体験記・クラブ行事報告(犬山RC).....	17
新入会員報告.....	19
寄付報告.....	21
出席報告(7月分・8月分).....	22
文庫通信.....	23



な
ん
と
か
な
る
を
忘
れ
な
い
な
ら
ば
老
い
え
る
楽
観
的
に
物
事
を

クラブ会長・幹事の皆さんへ

職業奉仕・米山月間によせて

改めて「サービス」を問う

ロータリーのすすめ

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

自分の望みは何であろうか。

よく生きたい、美しく生きたい、そして楽しく生きたい。
このように考える人は多いと思います。それには、まず経済的、身体的に安全安心でありたい、特に仕事で成功したい、気心の合う人が欲しい、楽しいこと自己満足できることがしたい、人に認められたい、そして人に喜んで貰いたい。まだまだあるでしょうが、これら全ての面に対して、ある程度までは応えてくれるのがロータリーです。

原始ロータリーでは、 フェローシップとビジネスの2つが目的とされており、次いでサービスが加わってこれら3つがクラブ活動の目的となりました。

ゆえに、その誕生時から凡そ人々の望みを叶えてくれる仕組みであったと云えるのではないのでしょうか。

一業種一会員を選んで、その会員の相互扶助を考えて始まったロータリークラブは、すぐに一部の職業人のための

エゴイズムの団体と非難されたようです。そんな折、創立から三年目にあの有名なシェルドンがシカゴRCに入会し、職業奉仕の考え方の原型をロータリーに与えてくれたのです。

ポール・ハリスは 著書の中でシェルドンについて次のように述べています。「(当時シカゴでは) 悪意と不信が競争相手に対するビジネスの姿勢を代表して

いた。そして使用人の福祉などは殆ど顧みられなかった。しかしながら、それには顕著な例外もあること、および最も正しい考えを持つ、心の豊かな若干のビジネス商社が最も成功していることにシェルドンは気がついたので、それらの成功を導

いた素因を研究し始めた。その研究は彼をして以前の印象を覆すに至らしめ、結局は、恒久的成功に至る確実な道はただ一つしかなく、それは即ちサービスの道であるとの結論を導いたのである。」

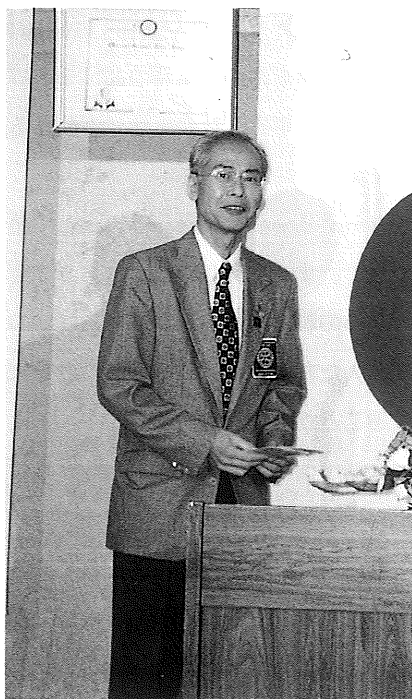


「成功は、決して飽くなく食欲と利己主義によってもたらされるものではなくて、それは彼にとっては引力の法則と同様に疑う余地のない自然の法則であるサービスの法則の適用によってもたらされる当然の結果だということである。」

「(シェルドンの) “最もよく奉仕する者は最もよく報いられる” という警句は

余りにも世俗的だとして多くの批判的となったし、また、シェルドンの頭に描いていたのは果たして金銭的な報いであったかそれとも精神的な報いであったかについても思惑の基となった。」

「著書（ポール・ハリス）は、シェルドン自身の関する限り彼は主として精神的報いと名づけられるべきものに関心を持っていたと考えるが、しかし彼の目的とするところは、最大多数に最大の幸福をもたらすにあった。彼は最大多



数は金銭的利益に関心を持つという事実を承知していたから、金銭的利益を求める人達こそ彼が呼びかけたいと望んだ人達であったのだ。」

「もし世間一般の利得を中心とする考え方が今後も変わらないとすれば、彼もまた少なくとも利得を正当なものと考ええる方向にその努力を修正しなければなるまいと考えた。一部の人が財政的熱意と考えるものについては、あたかも熱が火から生ずる避け難い結果であると同じように、利得というものはサービスから生ずる避け難い結果であると主

張した。火が大きければ熱も強くなる、同様に、サービスが大きければ利得もまた増大する、というのだ。」（ロータリー・モザイクより）

売り手と買い手は、

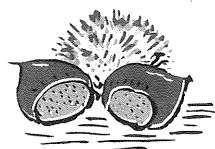
単純な取引でみるならば利害は相反するものです。ところがここにサービスという概念、相手に尽くす心を第一義に掲げると様相は一変します。利他がそのまま自然に自利へも導かれるという事だと思えます。恐らくこの点を源流としてロータリーは大きく展開されてきたと思われます。ビジネスは、天職・ヴォケーションに、そしてまた素直にサービスへと進んで参るものです。

「サービス」というたった一つの言葉に、

奉仕・職務・礼拝・兵役・貢献・もてなし等の意味が含まれています。利己と利他を調和させる素晴らしい言葉・概念であります。

社会や経済が時代の区切りと共に大きく動いています。早く、思いきって変化する事態に対応しなければ、と急ぎ立てられ不安定な環境に置かれているのが現代だと云えなくもありません。良くも悪くも資本主義が中心となって世の中が廻っています。そこで良く生きる、それにはロータリーの哲学が大きな救いになってくれると思います。そしてロータリーは、生き生きと楽しく実践する方法を示してくれ、またそのための仕組みや場を提供してくれます。

改めてロータリーを意識し直し、惚れ直し、そして進んで行動して明るい世の中になるよう努めようではありませんか。また、まだこの素晴らしさを知らない、しかし共感してくれるであろう新しい友人にロータリーの仲間に加わって貰い、大いに喜んでもらいましょう。



職業奉仕月間によせて



地区職業奉仕委員会
委員長 田中 清隆

今年度、福田ガバナーは「職業奉仕の理想」を第一に掲げられました。

が、ロータリアンのなかには、職業奉仕の意味がよく分からない、と感じている人も多いようです。

職業奉仕の原点は「アイサーブ」であると、自覚してください。

職業奉仕の原文はVocational Serviceです。ProfessionやOccupationではなく、あえてVocationとしているのは、それに「天職」というニュアンスがこめられているからでしょう。

武者小路実篤が好んで色紙に書いた言葉に、「天与の花を咲かす喜び」があります。彼は随想で、「その花を見る人たちが、幸せな気分になることが肝要」と言っています。

職業奉仕の倫理訓に「四つのテスト」があります。また、「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」や、「超我の奉仕」もしばしば職業奉仕に引用されます。

でも、少なからぬロータリアンはひそかに、いかにも押しつけがましいと感じたり、建前と本音は違うと考えているようです。

たしかに邦訳では、その感がするのは否めません。これには是非共、原文を参照して、正しい理解をして戴きたいと思います。来る地区職業奉仕委員長会議では、その参考となるべきレクチャーを企画しています。

ロータリーの綱領には、「常に自らの職業の水準を高め、業務の品位をあげることで、それによって、個人、事業、社会生活に奉仕すること」と明記されています。

ロータリーの職業奉仕は、決して施しやボランティアではなく、まして減私奉公でもありません。

自らの職業で正当な利益をあげつつ、自らの職業に関連する人たちにも、好意や好感、さらには幸福感をもって戴けることが大切なのです。

次期米国大統領候補のブッシュ氏は出馬表明演説のなかで、「繁栄の共益」という言葉をつかいました。

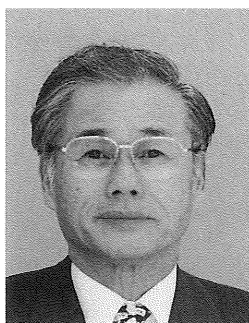
江戸時代、全国各地に進出して大きな商業成果をあげた近江商人の商売訓は、「売り手よし、買い手よし、世間よし」でした。これはまさに、「四つのテスト」と相通じる思想ではないでしょうか。

地区78RCの職業奉仕委員長から、今年度の事業計画のアンケートをとりましたところ、上位を占めたのは「職場訪問、職場例会」、次いで「優良従業員、公務員の表彰」でした。クラブにとっては、クラブ単位で行なうこれらの継続事業も必要なことでしょう。

が、さらに大切なのは、クラブ会員一人ひとりが、職業奉仕の原点についての自覚を深め、自信と信念をもつことではないでしょうか。

職業奉仕委員会の役割りは、まことに重大であるといえましょう。

米 山 月 間 に よ せ て



地区米山奨学委員会
委員長 藤 本 博 之

2000～01年度の

地区米山奨学委員長を務めさせて
頂くことになりました。なにとぞ よろしく願いいたします。

当年度の地区委員は、米山奨学委員 3 名、米山学友委員
3 名の計 6 名で地区の米山奨学事業を推進していくわけ
ですが、地区内78クラブの皆さんに行き届いたお世話をし
ていくには少々手薄だと思っています。そこで、すべての行
事を 6 名合同で進めたいと計画しています。

また、行事の継続性をはかるためにも 副委員長のリ
ーダーシップをより強調した運営を考えています。

1) 米山奨学会への寄付

この事業は、ロータリアンの皆さんの寄付で成り立っ
ています。善意あふれる積極的なご寄付をお願い致します。

2) 米山奨学生の選考

現在、日本に留学している学生は 約50,000人ですがそ
のうち約1,000人が米山奨学生 です。できるだけ、ふさわ
しい人を選考したいと考えています。

3) 世話クラブとカウンセラー

あまたある奨学事業のなかで、このカウンセラー制度が
米山奨学事業の大きな特徴です。ロータリーのなかに溶け
込んで日本の文化を肌で知って頂くことを期待しているわ
けです。

4) 学友会

奨学期間を終了した人で学友会を組織しています。

約半数が、母国と日本の他地区に移住しますが、半数が
この地区で学友会の会員として活躍しています。

5) 国際親善

この米山奨学事業は、勿論「国際親善」が大きな目的の
一つです。2760地区・6,300人 のロータリアン皆さんのご
支援を重ねてお願い致します。



地区米山学友委員会
委員長 小 野 文 憲

10月は米山月間です。
今一度米山奨学事業を思い起す良
い機会ではありませんか。

財団法人ロータリー米山記念奨
学会が、2000年度に奨学金を支給している学生数は年
間 1,100人、そして設立以来現在までに、93ヶ国から9,553
名（延べ16,246名）の留学生に奨学金を支給し、その内2,076
名がそれぞれの専門分野において博士号を取得し、世界各国、
各地域で社会の発展のために活躍しています。世界で活躍
する学友は、2000年 4 月には8,500人に達しようとしてい
ます。元米山奨学生（学友）の61.4%が日本を離れ、母国
あるいは第2、第3の故郷で活躍中です。

日本に於て現在組織されている

学友会は、18地区・地域にあり、海外には台湾、
および韓国にあり、一方タイ、マレーシアなどに新しい学
友会の組織化の動きが見られます。当第2760地区に於い
ても、各国の学友の希望により、「出身国に学友会の設立を」
との声が年々高まり、その橋渡しの検討をしているところ
であります。

さて、米山奨学生学友会愛知は、7月2日（日）、加納
泉（財）ロータリー米山記念奨学会理事、太田賢太郎地区
ガバナーエレクトご臨席のもと、ホテルキャッスルプラザ
に於きまして第4回総会を開催致しました。クネヒト・ベ
トロ学友会々長（南山大学人類学研究所 スイス）、劉正
学友会幹事長（デンソー基礎研究所 中国）の進行で全議
案が滞り無く承認され、本年度をスタート致しました。米
山奨学生や家族も参加出来る楽しい企画をしている模様です。
遠い異国の地で互いに励まし合って頑張っている学友諸君に、
我が委員会は心より拍手し、支援致してまいります。ロー
タリアンの皆様も御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

おめでとうございます

豊橋RC創立50周年

日時：2000年8月10日（木）

場所：ライフポートとよはし中ホール

豊橋ロータリークラブは、2000年8月10日（木）、ライフポートとよはしにて、福田ガバナー、早川豊橋市長はじめ多数の来賓を招いて、創立50周年記念例会を開催しました。

当クラブは、1950年8月、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとして当地区3番目のクラブとして会員22名で誕生致しました。（現在、総会員数133名）

記念式典は、会長挨拶、物故会員への黙祷にはじまり、記念事業の発表と目録の贈呈を行いました。



50年在籍表彰を手にする森P G

記念事業は環境保全・文化的貢献・新世代育成をコンセプトに「地域社会への恩返し」をさせていただく事業を中心に、11の事業を発表いたしました。

続いて、チャーターメンバーの森泰樹パストガバナーをはじめとして、石川和昌パストガバナー、パスト会長・幹事、在籍20年会員に感謝状と記念品の贈呈を行いました。

早川豊橋市長からご祝辞、福田ガバナーからはご祝辞とデブリン R I 会長からの50周年をお祝いしての証書を、豊橋クラブ

と森泰樹 P G に手渡されました。熱い感動を胸に式典を終了しました。

記念式典終了後、市民の皆様と一緒に「佐藤しのぶソプラノリサイタル」を鑑賞。そして、祝賀会では、豊橋クラブ伝統のメンバー全員による『手づくり』の宴で、終始和やかな雰囲気の中お開きとなりました。



記念式典報告

おめでとうございます

豊田西RC 創立30周年

日時：2000年8月20日(日)
場所：ホテル フォレスト

平成12年8月20日に「豊田西ロータリークラブ創立30周年記念式典」をホテル フォレストにおいて開催させて頂きました。当クラブは1970年8月24日、豊田ロータリークラブをスポンサーとしてチャーターメンバー29人にて創立され、現在会員103名のクラブとなりました。当日は、国際ロータリー第2670地区 福田ガバナー・伊藤地区幹事をはじめ、多勢のロータリアン、地区内・他地区のアクターが遠方より多数出席



席頂きました。また地域からは、鈴木公平・豊田市長、塚本三千雄・三好町長を始め、関係諸団体代表の方々などご来賓の出席も得て、会員夫人を含め200余人による式典を行いました。記念式典では、物故会員の黙祷、会長挨拶に続いて記念事業の発表と記念品の贈呈を行いました。そして福田ガバナー、豊田市長より祝辞を頂き無事記念式典を終了することが出来ました。引き続き行われた懇親会は参加者全員がお互いに語り合い益を重ね交流を



深め楽しい祝宴を挙行致しました。主な継続事業として実行してきた発展途上国への医療器具援助・豊田市立図書館への図書充実資金寄贈等の事業を継続する中から、来るべき次なる周年に向けて会員一同が更なる飛躍を図るべく、RC活動に邁進したいと思います。

創立30周年記念事業

- | | | |
|------------|-----------------|--------|
| ①豊田 | 心身障害者研修用パソコン | 100万円 |
| | 豊田西ロータリー文庫記念図書 | 10万円 |
| ②ロータリー関係 | ロータリー財団 | 9400ドル |
| | 米山記念奨学会 | 100万円 |
| ③中日新聞社豊田支局 | トルコ大震災義援金 | |
| | 台湾大震災義援金 | |
| | 北海道有珠山義援金 | 200万円 |
| ④アステ | (財団法人勤労センター憩の家) | |
| | ケナフ・栽培プロジェクト | 10万円 |
| ⑤社会福祉法人 | とよた光の里事業資金 | 50万円 |

地区委員会報告

第1回 地区ライラ委員会

日時：2000年7月12日(水) 午後2時30分～4時 場所：地区事務所

出席者 藤井 忠ガバナー補佐 鶴田欣也新世代委員長 倉知正憲地区副幹事 加藤鈴幸委員長 横山邦晴副委員長 中山信夫・金子利夫・沢田 信・中根啓式・中村泰明・濱島昭治 各委員

議題 (1) 報告事項

- ①ライラワークショップインジャパンの報告 ②第9回ライラセミナーの進行状況について
③第8回ライラセミナー決算報告書

(2) 協議事項

- ①今後のライラセミナーの方向性について

加藤委員長の司会により進行された。まず藤井ガバナー補佐、鶴田新世代委員長の挨拶があり、続いて出席者の自己紹介が行われ、本日初対面の方も多くて、お互いを知り合うまたとない機会になった。

報告事項については格別の異議なく、いずれも了承された。

来年度国際大会に合わせて初めて開催されるRYLA大会のカウンセラー推薦者として野村バスターガバナーと石田さん(豊橋ゴールデン)を内定し、本人の意向を打診することとした。

協議事項としてライラセミナーの方向性につき活発な議論が展開された。暗黙の諒解のもとにローテーションが確立している様子だが、ホストクラブの内情にも充分配慮を要望する発言があり、具体的には次年度の南尾張分区分での開催につき格段の配慮を求めるとのことでした。

ライラセミナーについても、委員長輩出クラブがホストクラブを兼ねる方式が続いているものの、今ひとつ地区委員とホストクラブを中心とする実行委員会の連携が足りない面が伺われるとの指摘も延べられました。

委員長のお人柄が和やかな雰囲気の中で終始し、定刻どおり閉会しました。

地区委員長会議報告

社会奉仕・環境保全・ RCC合同委員長会議

日時：2000年7月18日

於：ウェスティンナゴヤキャッスル

国際ロータリー第2760地区2000～2001年度「地区社会奉仕・環境保全・RCC合同委員長会議」が、福田ガバナー、太田ガバナーエレクト、伊藤地区幹事はじめ、各委員

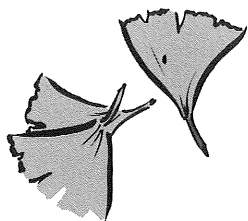


長等120名余の出席の下盛大に開催されました。

福田ガバナーは、「とりわけ環境は大きな問題であり、若者の教育も極めて重要な広い意味の社会環境問題である。これらに対してロータリーが働きかけ、取組む余地は大きい」旨指摘された。

続いて、千田社会奉仕委員長が、「本年度は、福田ガバナーの御意向により社会奉仕委員会は環境保全委員会、RCC委員会を含めた全体的な委員会となり、より広範囲な活動をもとめられています。その意味で委員長各位にはよりいっそうの御活動を期待し、御協力を切に御願います」の事です」とあいさつした。

引き続き、社会奉仕、環境保全、RCCの3分科会に分かれ、最近の取組み事例、今後の取組み方針発表等がなされ熱心な意見交換が行われ最後に、東三河分区分林ガバナー補佐から講評があり、成功裏に閉会した。



会員増強委員長会議

日時：2000年8月3日

於：名古屋国際ホテル

「第2760地区全クラブ会員増強委員長会議」は、大森春彦地区副幹事・光岡 朗地区会員増強委員の受付、安藤公爾地区会員増強副委員長の司会で開幕しました。

88名の参会者で「奉仕の理想」合唱のあと、福田清成ガバナーが「ロータリー活動の質的向上と会員増強を進めたい」旨挨拶され、RI第3ゾーン会員増強実行グループの今井鎮雄コーディネーターと同亀岡弘コーディネーターは「百年の歴史のロータリーが世界に対しどんな力になれるのか考えたい」「各クラブ5名の増強を！若い頭脳導入を！」等、強く呼びかけられました。

基調報告の小川辰男地区会員増強委員長からは「RC会員は昨年世界で12,911人減、日本でも3,320人減ったが、2760地区は2クラブ拡大により6月末で97名純増、ただし年度替りの7月1日では退会が前年比16名増になった。各クラブ提出の増強計画（地区計7%増）を再確認し総力



で実現されたい」と要請しました。

そして席上アンケート「どんな方策で増強を達成するか？」に基づき、出席76クラブ（2クラブ欠席）の全委員長から意見発表をして頂いたところ、「全会員をチーム編成して増強レースとする」「JC等の若手候補者を全力で確保する」「自クラブの目標が低過ぎた、修正したい」「女性の入会も考えたい」等々大いに盛り上がりました。最後に、星川直志ガバナー補佐、伊藤鶴吉地区幹事、榊原義嗣地区クラブ奉仕委員長のご講評を頂き、「全力で会員増強を推進する」ことを申し合わせ、午後3時半熱気に満ちた委員長会議を終了しました。

地区委員長会議報告

新世代委員長会議

日時：2000年8月25日

於：ウェスティンナゴヤキャッスル

第1回地区新世代委員長会議を福田ガバナー、松本パストガバナー、藤井ガバナー補佐、伊藤地区幹事、地区新世代関係役員、各RC新世代関係委員長など計140名の参加のもとに開催しました。



全体会議では、福田ガバナーからは「青少年の問題にいろいろな人が警告を発しているが何もしていないに等しい状態である。RCの奉仕の精神に則り、ロータリアンとして青少年の現状を少しでも良くするよう各RCにおいて具体的な活動を進めて欲しい」旨のお話をいただきました。また、第3ゾーンのゾーンコーディネーターである松本パストガバナーからは、「危機下の児童擁護（タスクフォース）について各RCの関係する委員会とも連携して活動をして欲しい」旨のお話をいただきました。



分科会は、新世代、IA、RA、RYLAに分けて行われ、ユニークな活動をしているRCの活動内容の発表など活発な討議が行われました。

懇親会は、松本パストガバナーの乾杯で始まり和気藹々のうちに終了致しました。関係者のご協力に感謝致します。

職業奉仕委員長会議

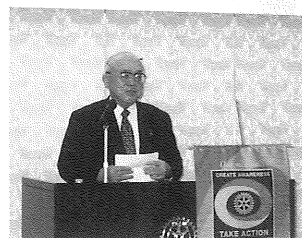
日時：2000年8月31日

於：名鉄グランドホテル

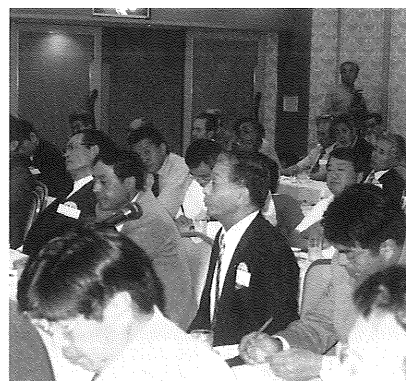
地区職業奉仕委員長会議が福田ガバナー、地区職業奉仕委員会委員をはじめ、地区内78RCの委員長出席のもと開催し、以下のプログラムで進行了た。

第1部は、レクチャー「四職業奉仕委員長会

つのテスト」で、田中地区職業奉仕委員長が、スライドを使って約一時間に亘り自説を述べた。ロータリアンが四つのテストに馴染めない理由の一つに、建て前と本音論があると指摘し、とくに威圧的な「真実か」や、意味不明瞭な「みんな」の単語などについて解説した。会場からは「目から鱗……」の声も出ていたが、この要旨については近日中に、中経新聞ロータリーコーナーに掲載の予定である。



第2部は、関口副委員長をオーガナイザーとしてのフォーラムで、各分区から選ばれたクラブが、自クラブの事業計画について発表し、それにたいして地区職業奉仕委員が適切なアドバイスを加えた。あらかじめ行った事業計画のアンケートで上位を占めたのは、職場例会（見学・訪問）



60%、四つのテスト関係40%、従業員等の表彰38%と、どのクラブでもマンネリ化を自覚しつつも、新しい計画には行きづまっている感がある。なお表彰関係では、名古屋名駅

RCの「椿賞」が抜群の内容であった。

第3部は、内藤明人パストガバナーによる講演「心の経営」。日本の現状を憂いつつも、真心と誠心誠意をもって事にあたれば活路は見出されるとの内容を、ユーモアを交えて約一時間お話しされ、会員に大きな感銘を与えた。

最後に福田ガバナーから、「大変素晴らしい会議で、十分に勉強できた」との講評を戴き、午後4時40分無事に終了した。

第1回地区ロータリー財団

合同委員会報告

地区ロータリー財団委員会
委員長 石川 敬

去る7月24日(月)、今年度最初のロータリー財団関係5委員会の合同委員会を開催しました。

伊藤地区幹事、滝担当副幹事、花沢ガバナー補佐及び5委員会委員長をはじめ合同委員会委員出席のもと5委員会の今年度の事業計画及び今年度の寄付目標(1人100ドル・

60万ドル)、地区委員会の行事予定(除くGSE)等運営方針について審議されました。

今年は福田ガバナーの方針により地区自体においても人道的教育プログラムのうち識字率向上プログラムを重点に「同

額補助金」の事業を展開したいと考えています。ご承知のとおり、地区ロータリー財団の仕事は、国際ロータリー財団の定める規則に従い、ロータリー財団に寄付される多額の資金を財団の関係委員会と協力し、有益かつ正常に活動できるようリーダーシップを発揮し、ロータリー財団の使命である国際的な人道的教育プログラムや文化交流プログラムを通して国際的理解と平和を推進する国際ロータリーの諸活動を支援することにあります。

ロータリー財団(5委員会)の今年度事業方針は次のとおりです。

(1) ロータリー財団各委員会

①ロータリー財団委員会

- ・ロータリー財団寄付目標の達成(60万ドル目標)とPR
- ・クラブ「ロータリー財団委員長」の地区会議の開催(9/6予定)
- ・地区「財団セミナー」の開催(11/28予定)
- ・地区「プログラム年度・DDF会議」の開催とプログラム決定(12/19予定)
- ・ロータリー財団関係委員会事業の促進に関する支援と地区事業の推進協力

②財団奨学委員会

- ・2001-2002年度奨学生候補者の派遣指導と対R・Iとの折衝
- ・2002-2003年度奨学生候補者の選考

③財団学友委員会

- ・奨学生のための「ガイダンス」の開催と「留学の手引き」の製作
- ・奨学生のための「オリエンテーション」の開催
- ・奨学生OBを含めた「学友会」総会開催とその拡充

④GSE委員会

- ・2000-2001年度交換グループの受入(スウェーデン)北部地域及び派遣プログラムの実施

⑤ポリオプラス委員会

- ・ポリオ撲滅運動の継続(1985年以降)
- ・クラブ「ロータリー財団委員会会議」でのポリオ推進特別スピーチの実施

(2) 地区事業

今年度はDDF計画の「同額補助金」プログラムが地区予算として初めて計画されています。地区内単位クラブに対し、積極的かつ協力的に同額補助金プログラムの展開を働

きかけていますが、地区単独において(クラブ参加の希望があれば喜んで共同事業とする)「同額補助金」プログラムを実施する計画である。

①提携予定ロータリー地区(クラブ)……………

R・I 5010 地区(ロシア)

②当地区事業母体=地区

社会奉仕委員会、同ロータリー財団委員会

(3) 各委員会の予算管理

- ・各委員長の責任において各委員会予算支出を処理する(地区事務所はノータッチとする)



ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

国際ロータリー第2760地区

ガバナーエレクト 太田賢太郎 (岡崎RC)

次期地区幹事 藤井 克己

地区会計長 杉浦 恵造

地区監事 伊藤 公正

地区副幹事 中野 敏雄

地区副幹事 杉浦 壽康

地区副幹事 岩附 辰治

地区副幹事 石田 欣三

地区副幹事 中根 幹雄

地区副幹事 加藤 信吾

地区副幹事 峰須賀利雄

地区副幹事 近藤 康治

地区スタッフ 林 和夫

地区スタッフ 本多 啓一

地区スタッフ 吉川 正敏

事務局 北原 眞琴

当事務所は2001年7月1日よりガバナー事務所となります。

所在地：〒444-0059

岡崎市康生通西3-16 康生ビル406

TEL：(0564)65-5552

FAX：(0564)65-5553

E-mail：ken.ota@lily.ocn.ne.jp

第1回ガバナー補佐会議報告

日時：2000年8月25日(金) 17:30～

会場：舞鶴館

出席者：福田ガバナー・伊藤地区幹事・沼田地区会計長・
安藤地区監事

石川・藤井・坂田・小坂・星川・林・花沢・加納
各ガバナー補佐

大平・森・石原・大塚・大森・倉知・滝各地区副
幹事

伊藤地区幹事の司会により開会、先ず福田Gが「補佐訪問・各委員長会議がたけなわで、ご苦労さまです。初期の目的を遂行する為に格段のお骨折りをよろしくお願いします」との挨拶に始まり議題に入った。

議題1. ガバナー補佐訪問について

各ガバナー補佐より順調に推移している状況の説明があった。またサインだけのメーキャップについて一部名古屋市内クラブで大勢の会員があり、困っている模様。(ニコボックスの依頼を義務づけるか?)

2. 地区大会・IMについて

地区大会の登録状況が各補佐より発表あり。同一分区内100%登録他。

3. 地区内会長・幹事会議について

各分区内では様々な形(会長のみ・会長幹事・幹事のみ)で開催されている。地区全体について、2001年6月頃に開催を予定する。

4. その他

伊藤地区幹事より新年度入りの会員状況(7月分)の説明があった。(19・20・22頁参照)



＝反省の時、クラブが主体 簡素に！ 柔軟に！＝



パストガバナー

田中 徹

1987～'88年度
ガバナー（半田RC）

この2760地区は会員数、出席率、奉仕実績等々、世界に比類なき優秀な地区であります。私はこの地区の一会員であることに誇りを持っていますが、昨今ロータリーに魅力の薄れてきたことを告白せざるを得ません。それは「ロータリーの中央集権が強化され官僚主義的になってきた」ことです。これは1999年ロータリーの友4月号に掲載されたカルロ・ラビッツァRI会長のメッセージの中の言葉です。

ロータリーも発展と共に肥大しました。組織が大きくなればそれなりに統制も必要ですが、組織の主体はクラブにあることを忘れてはなりません。そして奉仕は職業奉仕が第一義でロータリーは先ず「事業をする者の心構えをもって根幹とする団体」であることを銘記なくてはなりません。先輩ロータリアンが「ロータリーは人を作る」「例会は人生修養の道場である」と喝破されましたが20世紀からの贈り物として改めて反省しようではありませんか。

世界を見渡しますと規約はゆるく、ゆるく奉仕は社会奉仕へと流れ、例えば例会出席率は60%以下のクラブは2,500クラブもありRIに出席報告すら提出していない地区が62、クラブ数にして7,000クラブもあります。会員減少も1997～98年はクラブが377も増えているのに会員は15,000人も減少しています。日本でもクラブは22増えて会員は2,200人も減少しています。好景気のアメ리카でも6,000人余の会員減少は何故でしょうか？会員獲得のために一業1人制が一業6人にまで緩和されました。これによって真の友情が疎外されていることも事実です。

日本のクラブの様に成熟したロータリーは別ですが世界には色々のクラブがあるのです。反省すべきこの事実を直視して正すべきは正して前進しましょう。もう一度カルロス前RI会長の言葉を引用します。「国際ロータリーは自主独立したクラブの連合体であり、自主独立とは互いに信頼し合うことを意味し、複雑化したプログラムを簡素化して、より柔軟で、より透明性のあるものにしましょう」と。正に反省の要点であります。



= 会員増強に想う一数だけでなく質も =



パストガバナー

高澤 隆

1988～'89年度
ガバナー（豊橋RC）

本年度RI会長フランクJデブリンの

最大の目標は会員増強・拡大にあると思われます。会員増強と拡大は同じと考えられますが、**会員増強は各クラブ内**の問題ですが、**拡大は地区全体に関し、ロータリーの発展に直接つながるものであります。**国際ロータリー（R・I）はロータリアン個人個人により構成されるものでなくクラブの集合体から出来ております。各地区はR・Iが各クラブを指導する為に都合が良い様に定められたもので、過去の歴史を見れば分割等が数多く行われており、地区が絶対的なもので無いことは明らかであります。

1987年、旧260地区が分割され

愛知県が独立してD2760地区となったときのクラブは60、会員数は約4600名でした。以来拡大増強により現在クラブ数78、会員数約6250名となっております。**分割当時は日本全体で拡大が盛んで、クラブ数が急激に増加した為、地区の分割が各地区で行われ、私のガバナー時代は全国29地区でしたが、現在は35地区となり、全世界でも490名のガバナーが530名以上となっております。**

単県内でも分割が行われ、東京都、神奈川県、埼玉県、大阪府等が二つの地区となりました。愛知県でも会員数の増大とクラブ数の増加を見込んで、分割の試案がされたものでした。その1つは名古屋市を中心とする40クラブとそれ以外の都市に分ける案で、神奈川県が横浜+川崎とその他の都市の二つに分けたのと同様のものでした。現在から思えばクラブ数が増えても狭く交通の便の良い愛知ではその必要は無いものと思われます。

バブルが終りアジアを中心にロータリーにも不況の影響が強くなり、増加をつづけた会員は減少へと急変を致してまいりました。この事態にRIは、**会員増強プログラムの強化と地区分割を原則ストップ（ガバナーの増加中止）の方針を定め各ガバナーに指示を致している所です。**ロータリークラブだけでなく各種奉仕団体はいずれも会員を大幅に減少させている訳であります。ロータリーも会員の減少ストップはともかく増強はなかなかむづかしい現状であります。

さて当面の問題、会員増強について

1つの問題の提言を致しておきたいと思います。手元に1997年度版の標準職業分数一覧表があります。長野県のD2600の作成したもので、カウンセラー奥沢俊一PDG、委員長清水武吉（松本）他のメンバーによるものであります。今更職業分数でも思う人も多いかと存じますが、D2600は分割2年目にも作成しており今回が2度目になります。言うまでもなくロータリーの原点は1業1名であります。本年度のRI会長もクラブの会員は、多様化すると云われております。ロータリーの例会で多くの職業人の知り合いを広めることが、最も大切です。数だけでなく質も考えましょう。

福田ガバナー 公式訪問始動

福田ガバナーの公式訪問が8月2日(水)の名古屋和合クラブを皮切りに始まりました。

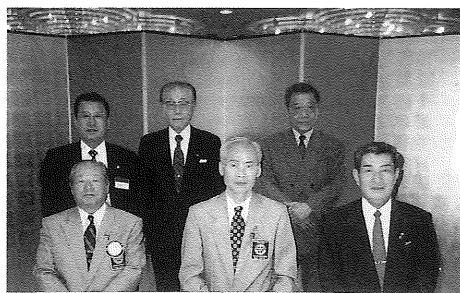
基本的には地区リーダーシップに基づき合同例会とし、単独8ヶ所、2クラブ合同26ヶ所、3クラブ合同6ヶ所、合計40ヶ所の会場で開催されます。

月信では順次、皆さんのクラブとガバナー訪問の様子をお知らせします。

(★印 ホストクラブ)

名古屋和合ロータリークラブ

[会長/森 武保 幹事/林 薫 会員数/109名]



今年度ガバナー公式訪問の第一号、トップとして我がクラブをご訪問いただき、大変光栄に存じます。卓話では“ロータリーと競争”についてお話しされ、ガバナーのお人柄に深く感銘を受けました。本年度地区大会のホストへのねぎらいのお言葉もいただき本当にありがとうございました。

午前中の会長、会長エレクト、幹事、副幹事との懇談会、そして例会終了後のクラブ協議会においてもガバナーをはじめ各委員長の活発な意見交換がなされ充実した終始なごやかな公式訪問でありました。

今年度の地区大会ホスト、次年度の30周年に向け今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。

8月2日(水) 12:30~13:30/ウエスティンナゴヤキャスル

岡崎南ロータリークラブ

[会長/小野 隆 幹事/本間 毅 会員数/108名]



岡崎城南ロータリークラブ★

[会長/田中暉登 幹事/青山幸市 会員数/76名]

親クラブの岡崎南ロータリークラブとの合同例会におけるガバナー卓話のエッセンスをご紹介します。

「市場経済の下で、アメリカンドリームに代表されるような億万長者が生まれました。しかし、成功の機会均等が保証される反面、一方で多くの人に絶望を与えたのではないかと思います。グローバルスタンダードに象徴されるような、普遍的なルールに基づく機会均等の競争社会の行き着く先が現状であります。負けたものはセーフティネットで救えば良いのか? そうではありません。ルール無きルールの下での経済競争の中で、唯一の救いがロータリーであります。仕事の基本に奉仕の理想を置く、ロータリアンでない人も含めてです。」

8月4日(金) 12:30~13:30/名鉄岡崎ホテル

名古屋中ロータリークラブ

[会長/大井金史 幹事/河尻邦博 会員数/154名]



福田ガバナー 伊藤地区幹事をお迎えしての公式訪問は、11時よりの懇談会に始まり例会、クラブアッセンブリーと緊張した中にも和やかな雰囲気で行ないました。当クラブには福田ガバナーと古くからの友人が多く懇談会でも例会会場でも旧交を暖める場面が見られ会員の方達もガバナーに親しみを覚えられた事と思います。

F.J.デブリンRI会長のテーマ(意識を喚起しー進んで行動を)をわかり易く説明戴きガバナー方針の職業奉仕と会員増強等について熱心にお話しになりアッセンブリーでは各委員会に対し適切な助言をされ大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

8月7日(月) 12:30~13:30/名古屋観光ホテル

瀬戸ロータリークラブ

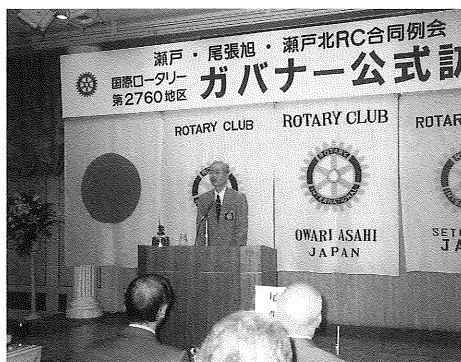
[会長/神戸芳樹 幹事/波多野耕一 会員数/87名]

尾張旭ロータリークラブ

[会長/永長次郎 幹事/森下 泉 会員数/59名]

瀬戸北ロータリークラブ★

[会長/鈴木 元 幹事/塚本宏治 会員数/73名]



8月8日(火) 12:30~13:30/グレイセル

8月8日(火)、早朝より福田ガバナーが、公式訪問され職業奉仕を中心に、ロータリー活動を如何に展開して行くか、いろいろとご教示頂きました。

基本的には、職業奉仕は社会人たるものの義務であること、各々が与えられた役割を認識して、行動に移すかについて具体的にご示唆頂きました。又、当クラブは心をひとつにして、東尾張分区ゴルフ、来年3月24日にはIMをホストする事になっており、これらの大会を通して知り合いを深め、親睦の実をあげたいと申し上げた所、励ましのお言葉を頂きました。更に、ロータリー精神を学ぶ為、ガバナー事務所に卓話を依頼しているので、派遣願いたい事を申し添えました。

名古屋名駅ロータリークラブ

[会長/櫻木邦衛 幹事/安藤隆利 会員数/113名]



8月9日(水) 12:30~13:30/名鉄ニューグランドホテル

8月9日、ソングリーダーズによる歓迎の合唱の中、福田ガバナー、伊藤地区幹事のお二人を一同拍手でお迎えし、公式訪問が開催されました。事前懇談会は十周年の節目を迎え、クラブの現状や特色をふまえ、今後の活動など丁寧にご指導頂き、また例会での講話では、無理のない会員増強から奉仕の理想に至るまで、終始わかりやすくロータリーの理念について説かれました。引き続き行われたクラブ協議会は建前的な報告と質疑応答ではなく、ガバナー対委員長という本音の討議がなされ、現在クラブに内包する諸問題にガバナーより適切な示唆を頂き、和気藹々とした中とても有意義な協議会となり、当クラブにとって大変充実したガバナー公式訪問でした。

新城ロータリークラブ

[会長/島田 惇 幹事/岩崎 章 会員数/69名]



8月21日(月) 12:30~13:30/新城観光ホテル

奥三河ロータリークラブ★

[会長/鈴木保男 幹事/後藤和治 会員数/37名]

8月21日(月)新城RC、奥三河RC合同による公式訪問を無事終える事が出来、両RC会員の皆様方と福田ガバナー、伊藤地区幹事様に対し感謝しています。

又当日は特に残暑も厳しく、福田ガバナー、伊藤地区幹事様には大変な1日であったかと思われます。お聞きしますと朝7時00位に御自宅の江南市をお出掛けになられたとのお話、正に愛知県の最西の地より、最東の地と誠に遠方の地より御苦勞様でした。

そして会長、幹事会では、私共地域の実情とクラブの現状等多岐に渡り御聴取下さり、その上今後のクラブ運営に対し懇切丁寧に御指導下さいました。私共の使命は意識を喚起し、新しい2001年を迎える事の出来るよう勤めてまいる所存です。また12時30分からの合同例会ではガバナーのスピーチを拝聴し、人柄を知る事も出来ました。感銘を受けました。

半田ロータリークラブ

[会長/吉田信彦 幹事/竹内俊介 会員数/71名]



8月22日(火) 12:30~13:30/レストラン白山

半田南ロータリークラブ★

[会長/水野雲浄 幹事/榊原弘一 会員数/67名]

8月22日(火)に開催されました半田南RC・半田RC合同のガバナー公式訪問の協議内容をご報告いたします。

福田ガバナー、石川ガバナー補佐をお迎えして、半田RCと合同の公式訪問が開催されました。事前の懇談会では、なごやかな雰囲気の中、国際奉仕によるW.C.S活動に対し独自の援助活動に共感し、激励していただきました。また、今年度に対するクラブのI.Mへの組織等について評価をいただき、いろいろな点に対し熱心に御指導頂きました。

例会のガバナースピーチにおかれましてもロータリーの奉仕の実績と問題点について述べられ、現在の市場原理主義を警鐘し、倫理性の必要を主張され、これからの人間性について問いかけを話されました。今こそロータリークラブの必要性を述べられ、大変共感し、又感銘をうけました。

ブリスベーン研修報告

公立ケドロン ステイト ハイスクールで国際交流
ケンモアーR.C.のブッシュ (BUSCH) さんと情報交換

地区インターアクト委員長 荻 本 鉄 夫

インターアクトクラブの活動に対する日ごろのご支援に
心より感謝申し上げます。

第13回インターアクトクラブ海外研修派遣につきまして、
ご報告申し上げます。

地区インターアクトクラブの海外研修は、4年間連続シ
ドニーにおいて実施して参りました。今年度は、シドニー
オリンピックの影響を考慮し、初めてクインズランドのブ
リスベーンで行いました。

ブリスベーンはオーストラリア第3の都市であり、シド
ニーより1,000km北部にありますので、日本の5月初旬頃
の気候で毎日快適な活動が出来ました。

参 加 者

研修に参加致しま
したのは、15インタ
ーアクトクラブから
推薦されました会員
38名（女子33名 男
子5名）、団長には
名古屋インターアク
トクラブ顧問の鈴木
一弘教諭、副団長に
県立豊橋商業高等学
校インターアクトク

ラブ顧問の波多野美和子教諭、それにアドバイザーとして
地区インターアクト委員長の荻本鉄夫、地区委員の村瀬竜
雄、ビデオ担当オブザーバーの加藤辰己の皆さん、総員43
名でありました。

ホームステイ ——人と文化の出会い

ホームステイの魅力は、家族の一員として生活を共に
することにより、一般の観光旅行では味わうことの出来な
い（人と異文化）との出会いにあります。日々の生活や文
化の違いを肌で感じ、国際感覚を身につけ、生の英語力の

向上を図ることの出来る点にあります。1～2日間は緊張
と不安で思う様には会話も上手くできませんが、だんだん
に緊張も和らぎ、英語学校の先生やホストファミリーとの
会話も上手く出来るようになるのが、端から見ていても良
く分かりました。

ブリスベーンのKENMORE R.C.のBUSCH氏 と情報交換

ケンモアーロータリークラブのノエル・ブッシュ（
NOEL BUSCH）さんと我々ロータリアン3名（荻本鉄夫、
村瀬竜雄、加藤辰己）が夕食を共にしながらロータリーク
ラブ並びにインターアクトクラブについての情報交換を致
しました。私から2760地区のロータリークラブ、インター

アクトクラブの現状
と活動について説明
し、今後ブリスベ
ーン周辺にあるインタ
ーアクトクラブと27
60地区のインタ
ーアクトクラブが協同
活動（co-work）す
るこ とを提案致し
ました。

例えばこちらの海

外研修派遣団員が一日ツアーをする時には、ブリスベ
ーンのインターアクトクラブ会員も参加して、国際交流をする
ように提案致しました。

NOEL BUSCHさんは『こちらのインターアクトクラブ
は病院でボランティア活動』をしているので、この活動に
2760地区のインターアクトクラブ会員が参加してはどうか
とのセッションがございました。

これからの『2760地区インターアクトクラブ海外研修』
をブリスベーンで実施すれば国際ロータリー第2760地区の
インターアクトクラブと第9600地区のクラブが協同活動を



することは充分可能になったと思います。

また、第9600地区の地区インターアクト委員長アイラングレイグ（Alan Greig）さんとも電話でお話することが出来ました。

＊帰国後（8月11日）早朝グレイグさんから（次年度の協同活動について具体的な相談に入ろう）と言うe-mailが入りました。

現地公立学校Kedron State High School 訪問

ブリスベンCityから僅かに20分の公立ケドロンハイスクールを訪問。

教頭先生、日本語を教えている女性の先生、代表生徒さんの歓迎の挨拶を受けた後、荻本委員長が挨拶をし、生徒（Buddyと言う）の案内で学校内を回りランチを共にし、また運動をし国際交流を図りました。生徒達は直ぐに友達になり、住所や名前を教え合っていました。



生徒達はすぐに友達になり、住所や名前を教え合った



フェアウェルパーティー

一週間は（あつと言う間）に過ぎ、ホストファミリーとのお別れの日がやって来ました。一人一人が終了証書を受けた後、練習をしてきた歌を歌い、また『二人羽織』を披露し、大きな笑いとともに大拍手を受けました。

120名を超えるホストファミリーを前に、私がスピーチをしている間、小さな子供が沢山いるにも拘わらず、全員が静かに耳を傾けてもらったことに感動致しました。

最後に、大部分の生徒さんがホストファミリーと抱き合っ
て涙を流すシーンは感動的で、我々のバスが出るまで手を振って別れを惜しんでくれた家族の姿が今も目に浮かびます。

全てのロータリアンの皆様に、海外研修の機会を与えて
頂いてことに心より深く御礼申し上げます。

会員（光ヶ丘女子高校 小野田真弓さん）の体験感想文は
次頁に掲載しました。

参加者一覧表

氏 名	性別	学年	インターアクトクラブ名	氏 名	性別	学年	インターアクトクラブ名
古 橋 希代子	女	3	豊橋高校I.A.C.	小 塚 千 博	女	3	津島女子高等学校
戸 莉 香 奈	女	3	〃	犬 飼 智 子	女	2	〃
小 出 涼 介	男	3	豊田工業高等専門学校	今 村 早希恵	女	3	一宮女子高校
佐 藤 晃 義	男	3	〃	宇佐美 陽 子	女	3	〃
中 川 隼 敏	男	2	〃	小野田 真 弓	女	3	光が丘女子高校
中 野 享 子	女	3	豊橋商業高校	森 内 友 紀	女	3	〃
上 田 ひと美	女	3	〃	中 村 里 子	女	2	〃
白 上 有 希	女	3	〃	永 田 千映美	女	2	〃
桐 生 めぐみ	女	3	〃	野 村 仁 美	女	2	〃
鈴 木 雅 博	男	2	岡崎城西高校	片 岡 沙 織	女	2	阿久比高校
山 田 夕 子	女	3	名古屋インターアクトクラブ	松 澤 友 紀	女	3	〃
片 岡 由 佳	女	3	〃	牛 嶋 あすみ	女	2	千種高校
稲 垣 優 子	女	3	岡崎学園高等学校	小 川 明 子	女	2	〃
杉 山 琴 恵	女	3	〃	水 野 良 美	女	2	〃
兵 藤 彩 香	女	3	〃	江 場 あすみ	女	3	桜花学園高校
西 山 晴 可	女	3	〃	水 鳥 奈 美	女	3	〃
吉 川 真 代	女	3	安城学園高等学校	川 島 厚 美	女	2	尾関学園高校
柴 田 留見子	女	3	〃	西 尾 洋 明	女	2	〃
田 嶋 弓 恵	女	3	〃	林 由里子	女	2	〃

私の宝物 オーストラリア、

光ヶ丘女子高校 小野田 真弓

私にとっての初めての海外旅行がオーストラリアのブリスベーンで本当によかったです。日本を出発する前日は飛行機が落ちないだろうか、私の英語は通じるのだろうかと様々な不安がある反面、楽しみでしかたない気持ちが混ざり複雑でした。

ブリスベーンについてからホストに会うまでの時間、私はすごく不安でした。マザーはどんな人なんだろう、ファザーは？ 子供達は？ そんな不安を抱きながら家につきました。その日29日は9才の男の子ジェームスの誕生日会でした。その為子供達がたくさんいて、ちょっとドキドキでした。この時私は初めて海外にいるんだと実感しました。その夜、マザーと4才の女の子ミヒタベルと話をしました。自分の事や家族の事を話したり、ホストについて教えてもらったり…。私はマザーの話が分かるよう努力しました。分からない時は何度も聞いたり、辞書をひいたり。オーストラリアにいる間ずっと辞書が手離せませんでした。それでもたまに分からない時は笑顔でごまかしていました。でもしばらくすると、どうしてもマザーの言ってる事を理解したくて、何回も何回も聞き直しました。嫌われるくらいいつく。でもそのお

かげかマザーはすごくゆっくり、簡単な単語で話してくるようになりました。

それから私が一番楽しかった事は子供と折り紙で遊んだ事です。ホストは折り紙を知っていてとても興味を示してくれました。鶴やかぶとなど様々な種類の物を作りました。最初は見るだけだったジェームスとミヒタベルもだんだん自分でも作りたいから教えてと言うようになってきました。私がその時感じた事はたと言葉が分からなくても身ぶり手ぶりでも一緒に楽しめる折り紙のすばらしさという事です。それから毎日のように3人で夜遅くまで遊びました。

私は今回本当にこの研修に参加できてよかったです。友達も、家族もでき、一言では言い表せないほど本当にすばらしい体験をしました。このようなすばらしい体験ができたのもロータリーの方々、家族、引率の先生方など多くの方々の支えがあったからだと思います。ありがとうございました。私はフェアウェルパーティーでホストと約束したようにもう一度、オーストラリアの家に帰りたと思っています。そして今回あまり話ができなかった14才、17才のホストとたくさん話をしたいです。

犬山ロータリークラブ 震災後の台湾草屯から41名ホームステイ受入れ

台湾草屯童子軍交流実行委員会結成

犬山ロータリークラブは、台湾草屯RCと姉妹提携を結んで25年になり、毎年夏にボーイスカウトの海外派遣事業を行うなど、積極的な国際交流を行ってきた。

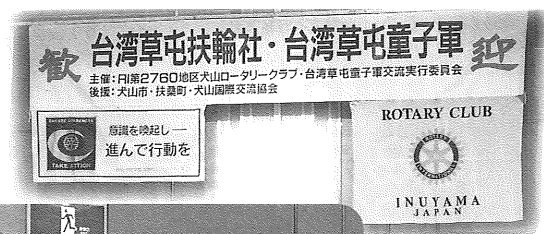
本年については昨年9月の台湾中部で発生した大地震により、震源地に近い草屯市では、多大な影響が残り、草屯RCでの受入れは不可能な状況で、本事業は取りやめる事となった。

地震後の悲惨な状況が続く中、現地の子供達は、災害の恐怖に直接さらされ、精神的苦痛も相当なようです。

そこで犬山RCでは、この様な時にこそ、真の国際交流をと草屯の子供達を犬山に迎え、子供達に明るさを取り戻すよう、また慰めになればと犬山派遣を受け入れる事となった。



今迄、台湾草屯に海外派遣をしていた犬山や扶桑のボーイスカウト・ガールスカウトの役員と犬山RCが受け入れの為に「台湾草屯童子軍交流実行委員会」を結成し、又、犬山市・扶桑町、そして犬山国際交流協会の後援のもと準備を進め、4日間にわたり童子軍41名のホームステイと総勢62名という大規模な受け入れを行った。



ガバナー代理
伊藤地区幹事(左)
坂田ガバナー補佐(中)
大平WCS委員長(右)

子供達はホームステイをしながら犬山城、モンキーパークなどの見学や犬山のボーイスカウト・ガールスカウトとキャンプファイヤーなどで日本の夏を満喫。明るさを取り戻した笑顔にホーッ！



福田ガバナーメッセージ

台湾草屯より多くのボーイスカウト・ガールスカウトの皆さん、日本によろこそおいで下さいました。また草屯ロータリークラブの皆さんにはご案内を兼ねての訪日を国際ロータリー第2760地区を代表して心からご歓迎申し上げます。

お伺い致しますところ、草屯ロータリークラブと犬山ロータリークラブは1975年に姉妹提携をされてより友好親善は年を追う毎に交流を深められ今日に至っておられることは誠に喜ばしいことと存じます。その証しとして1982年以来犬山・扶桑のボーイスカウト・ガールスカウトの皆さんが台湾に15回に及ぶ訪問があったと伺っています。このような国際交流の中で昨年9月の大地震にみまわれた地域の大勢の皆様を迎え、犬山ロータリークラブが中心になって過去にお世話になった方々の家庭でホームステイをされますことは国際奉仕のお手本であると思います。

犬山は日本を代表する観光地です。どうぞ各地を視

て頂いて心を癒して下さい。そして震災の恐怖を犬山の地で少しでも取り除いて下さい。

本年度の国際ロータリーフランク・J.デブリン会長は重要な活動を支援するための20のタスク・フォースを任命されました。その中にマッチド・クラブ・タスクフォース、これは組み合わせクラブという意味でクラブ提携によって国際奉仕プロジェクトを遂行していくことを一層奨励されております。その意味でも今回の両クラブの事業はデブリンR I会長の意に側った立派な活動であると思います。

今後、両クラブが益々親善を密にされ、末長く交流と友好が一層計られますよう祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。謝謝。

月信編集スタッフからのお願い

月信では各クラブの事業を順次ご紹介します。写真(数枚)を添えて奮ってご投稿下さいませ。

尚、第5号(10月10日)、第6号(11月1日)、第7号(12月1日)、第8号(1月1日)と発行日が多少変則になっていますが、発行日の25日前迄にガバナー事務所迄お送り下さいませ。お待ちしております。

ご入会おめでとうございます

(8月末日到着分掲載)

分 区	ク ラ ブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
南 尾 張	半 田	長浦 和明	1957. 11. 13	中部電力(株)	電気事業
	東 海	山崎 雅弘	1939. 4. 28	(株)日東土木	下水道工事
	//	中林 功	1957. 7. 5	(株)東海興業	建 築
	東 知 多	小川 哲司	1949. 10. 15	東府建設(株)	土建業
	//	管井 利昌	1959. 1. 31	元禄工業(株)	金網製造
	//	浜 修一	1968. 10. 24	(有)大樹開発	ゴルフ練習場
	//	松下 至宏	1954. 7. 8	松下歯科医院	矯正歯科
	半 田 南	稲生喜公雄	1943. 11. 29	半田信用金庫	地方金融業
西 尾 張	//	日高 信康	1959. 5. 5	つばさ証券(株)	証券業
	知 多	伊藤 忠彦	1964. 7. 11	(株)ジャパンエディンコ	総合学院
	一 宮	森下 健	1948. 1. 10	東海銀行 (一宮)	商業銀行
	//	多胡 一美	1955. 3. 15	住友銀行 (一宮)	外国為替
	津 島	松崎 安孝	1951. 5. 12	津島市民病院	公立病院
	//	山田 勝弘	1958. 3. 21	山田土木(株)	土木工事
	//	松長 浩二	1958. 12. 24	(株)松長鉄工所	鉄工業
	尾 西	渡邊 昌則	1956. 6. 14	アペ・ロマネスク	アパート経営
	稲 沢	松岡 好幸	1950. 12. 28	東海銀行 (稲沢)	都市銀行
	あ ま	富田 喬司	1940. 6. 15	(株)メルサ	百貨店
東 尾 張	//	宮崎 恭明	1941. 1. 14	(株)名鉄グランドホテル	ホテル
	//	谷口 義文	1947. 9. 24	朝日生命 (愛知西)	医療保険
	尾張中央	二村 泰博	1944. 3. 24	(株)ワールドケミカル技研	工業用ロボット部品製造
	一 宮 北	櫻井由美子	1969. 3. 1	櫻井公認会計士事務所	公認会計士
	//	森 通保	1949. 12. 3	(株)森吉倉庫	倉 庫
	瀬 戸	立石 博明	1963. 7. 11	立石産業(株)	樹脂製品製造
	//	浦沢 正芳	1949. 1. 4	N T T (瀬戸)	電話事業
	//	栗崎聡治郎	1951. 8. 12	東海銀行 (瀬戸)	商業銀行
	犬 山	石田 光彦	1955. 12. 27	中日本観光サービス(株) (犬山)	観光事業
	江 南	坂本 善久	1959. 7. 8	つばさ証券 (江南)	証券業
	//	堀尾 庄一	1953. 12. 21	(株)米庄	米穀配布
	//	大池 武徳	1959. 11. 16	(有)大池地所	不動産業
	//	松井 智義	1955. 10. 13	(有)マツイデンタルアート	歯科技工師
	小 牧	谷口 秋信	1954. 8. 25	(株)谷電総業	電気制御装置
	//	兼松 信之	1939. 11. 10	東春信用金庫	信用金庫
	//	服部 智謙	1960. 10. 3	(宗教法人)妙遠寺	仏 教
	春日井	北 健司	1949. 7. 13	大誠医科器械(株)	医療機器販売
	//	古岡 茂	1955. 6. 12	東濃信用金庫 (勝川)	信用金庫
西 名 古 屋	名古屋空港	照井 通夫	1951. 7. 4	(有)アサ・コム	新聞広告配布
	//	永井 英雄	1949. 1. 14	(株)国際観光ホテルナゴヤキャッスル・ホテルキャッスルプラザ	ホテル業
	瀬 戸 北	中島 英海	1956. 7. 7	道泉寺	僧 侶
	//	平岩 太伸	1955. 1. 21	平岩工業(株)	建築材料配布
	豊 山 城 北	遠藤 康代	1942. 10. 14	医療法人遠藤外科・整形外科	医院経営
	//	馬場 博通	1937. 2. 11	(株)馬場器械店	医療機器販売
	名 古 屋	宮下 英紀	1941. 9. 1	三井生命保険	変額保険
	//	水野 一樹	1956. 10. 7	(株)水野靴店	革カバン卸
	//	森 直三	1936. 8. 4	(株)ジェイアール東海 高島屋	ストアー (一般商品)
	//	社本 光永	1959. 5. 4	福玉精穀倉庫(株)	運輸倉庫
	//	谷川 修	1950. 5. 7	(社会福祉法人)名古屋キリスト教社会館	児童福祉事業
	//	葉狩 浩一	1947. 8. 22	明治生命保険	生命保険
	//	笠間 薫	1940. 4. 21	(株)名古屋三越	繊維品小売
	//	田中 公平	1941. 3. 22	名古屋ヒルトン(株)	国際ホテル
	//	武藤 英二	1949. 1. 2	日本銀行 (名古屋)	中央銀行
	//	白石 好孝	1945. 8. 21	東陽倉庫(株)	倉 庫
	名古屋西	小出 美孝	1941. 9. 22	日本電話施設(株)	電気通信工事
	名古屋南	宮田 和昭	1935. 12. 25	(株)ミヤタコーポレーション	化学製品配布
	//	早坂 行雄	1947. 4. 29	N H K 名古屋放送局	全国放送
	//	坪井 良憲	1957. 10. 7	(株)坪井屋仏壇店	仏壇製造
	名古屋みなと	大島 弘	1934. 7. 21	名鉄交通(株)	タクシー業
	//	水谷 隆	1964. 2. 17	(株)ユニオンネット	通信設備
	名古屋東南	本川 藤尚	1942. 12. 14	大日本インキ化学工業(株)	化学工業
	名古屋中	川島 悦雄	1954. 1. 23	(株)丸松	花小売
	名古屋瑞穂	亀井 直人	1958. 2. 13	亀井ソフラン(株)	ウレタン加工
	名古屋栄	江場 正樹	1952. 11. 20	江場酸素工業(株)	ガス生産

新入会員報告 7月・8月分

分区	クラブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
西名古屋	名古屋名駅	館内 俊治	1937. 2. 26	(株)ニッタイ	建築材料販売
	〃	山上 正視	1936. 5. 10	(株)シーティーアイ	コンピューターサービス
	〃	藤井 圓隆	1949. 8. 18	(宗教法人)大黒寺	仏教(天台宗)
	〃	平山 力	1942. 10. 20	コンパックコンピューター(株)(中部)	コンピューター販売
	〃	小林 稔	1958. 8. 30	野村證券(株)(名古屋)	証券業
	〃	近堂 一郎	1941. 8. 21	日立電線(株)(中部)	電線製造
東名古屋	〃	岡村つね子	1940. 1. 3	(株)トーアフォート	写真現像業
	名古屋北	内藤 秀樹	1941. 1. 28	中部土木(株)	土木工事
	名古屋東	ミカエル・カルマン	1948. 7. 23	(学校法人)南山学園	キリスト教
	名古屋守山	武田 與人	1933. 1. 5	丸満産業(株)	テント・シート製品製造販売
	〃	安藤 和行	1951. 2. 7	東レ建設(株)(名古屋)	コンクリート建設
	名古屋和合	平子 太一	1955. 5. 27	(株)日本調温	冷暖房装置
	〃	高木 一平	1956. 3. 14	高木耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
	名古屋名東	兄山 祐司	1939. 5. 5	(株)富士システムズ	工業機械販売
	〃	丹羽 幸	1953. 6. 27	(株)井清寿	不動産管理
	名古屋千種	新熊 清	1941. 4. 25	名古屋学院大学	私立大学
東三河	名古屋昭和	高津 忠彦	1946. 10. 6	光工業(株)	工業用材料販売
	〃	島本 一	1957. 5. 1	(株)島本画材	美術材料販売
	名古屋東山	平下 三郎	1946. 7. 16	千年設備工業(株)	内装設備
	〃	吉川 寿一	1961. 8. 8	(株)法輪	石工業
	豊 橋	大竹 慶子	1942. 5. 26	大竹ゼミナール	教育指導
	〃	杉山 英昭	1949. 1. 7	NHK(豊橋)	全国放送
	〃	平澤 昌彦	1952. 10. 15	安田火災海上保険(株)(愛知東)	自動車保険
	蒲 郡	小倉 靖史	1955. 2. 3	東海銀行(蒲郡)	商業銀行
	豊 橋 北	定塚 淳一	1961. 8. 11	野村證券(株)(豊橋)	証券業
	豊 川	高橋 睦治	1937. 3. 26	豊川市民病院	公立病院
西三河中	田 原	田中 公	1950. 4. 21	三河小野田セメント(株)	セメント及び関連製品製造
	〃	布川 義行	1952. 4. 21	トヨタ自動車(株)	自動車製造
	豊 橋 南	白井 収	1962. 9. 27	(有)植田屋染工場	染色業
	〃	竹田 知史	1953. 8. 21	蒲郡信用金庫(南栄)	相互貯蓄及び貸付業
	〃	梶村 康彦	1953. 8. 8	豊橋信用金庫(本店)	地方金融
	田原パシフィック	鈴木 保宣	1955. 8. 1	(有)あかばね動物クリニック	動物病院
	岡 崎	三井 康有	1953. 3. 15	野村證券(株)(岡崎)	証券業
	〃	酒部 圭司	1963. 5. 10	酒部建設(株)	公共施設建設
	〃	後藤田祥蔵	1941. 3. 7	名鉄東部観光バス(株)	バス事業
	豊 田	伊藤 宣博	1953. 8. 20	東海丸万証券(株)(豊田)	証券業
西三河	〃	諸戸 尚視	1947. 8. 27	東海銀行(豊田)	商業銀行
	〃	久米 隆義	1944. 10. 29	中部電力(株)(豊田)	電気供給
	〃	武田 博克	1936. 6. 29	豊田信用金庫	信用金庫
	〃	大原 正義	1940. 11. 21	(株)名鉄トヨタホテル	シティホテル
	〃	木村 勝義	1942. 4. 1	岡崎信用金庫	中小企業金融
	岡 崎 東	中川 和広	1956. 2. 18	中川自動車(株)	自動車修理
	〃	安藤 満	1958. 1. 23	(株)安虎石材店	石製品販売
	〃	青山 俊次	1942. 1. 9	青山電気(株)	電気工事
	豊 田 西	平工 稔	1952. 9. 4	東海銀行(豊田南)	都市銀行
	〃	南 孝三郎	1950. 1. 5	(株)東海理化	計器及び電気部品製造
西三河	豊 田 東	近藤 士温	1949. 12. 19	岡崎信用金庫(美里)	地方金融
	岡崎城南	藤田 重行	1950. 2. 28	丸九建設工業(株)	建設請負業
	〃	小林 政則	1954. 3. 24	(株)岡崎ニューグランドホテル	ホテル
	豊田三好	近藤 純子	1944. 5. 13	(有)愛豊	ビル清掃管理
	刈 谷	安藤 延壽	1951. 5. 27	(株)エヌ・ティ・ティ東海セミナーセンター	研修事業
	〃	中島 清	1947. 9. 13	日本生命保険(刈谷)	企業保険
	〃	平野 和男	1940. 10. 22	アイシン開発(株)	土木建築
	〃	中田 忠彦	1939. 5. 15	(株)カーマ	家庭用雑貨販売
	〃	大羽 義勝	1945. 8. 26	中部電力(株)(刈谷)	電力供給
	西 尾	岩崎 茂郎	1960. 10. 21	(株)大黒屋	パン配布
西三河	碧 南	新美 惣英	1959. 12. 1	三光陸運(株)	運送業
	〃	近藤 弥	1960. 6. 8	東海丸万証券(株)(碧南)	証券業
	〃	鶴田 光久	1953. 1. 7	(資)鶴田鉄工所	自動車部品切削業
	〃	稲吉 徳雄	1952. 5. 4	岡崎信用金庫(碧南)	信用金庫
	〃	加古 雅敏	1942. 1. 19	アイシン辰栄(株)	塗装業
	一 色	太田 幹浩	1959. 6. 22	太田歯科	歯科医
	〃	岡田 武宏	1943. 11. 3	岡崎信用金庫(一色)	信用金庫
	高 浜	牧 武	1955. 11. 3	愛知県中央信用組合(高浜)	市民金融
	知 立	松井 文磨	1939. 4. 17	中日新聞 知立団地松井専売所	新聞販売
	〃	宮田 義信	1951. 10. 11	(株)知立ホテル	ホテル
三河	三河安城	平子 昭三	1943. 12. 13	豊臣機工(株)	プレス板金加工
	〃	小西紀久雄	1940. 12. 10	万能工業(株)	操縦装置部品製造
	〃	松井 一由	1955. 4. 12	名鉄観光サービス(株)(安城)	旅行斡旋業

特別寄付報告

2000年7月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

クラブ名称	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
東 知 多	0	150,000	0	150,000	1件
名 古 屋 千 種	0	100,000	0	100,000	1件
名 古 屋 空 港	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 名 北	0	150,000	0	150,000	1件
名 古 屋 名 東	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 南	0	190,000	0	190,000	16件
名 古 屋 瑞 穂	0	540,000	0	540,000	18件
名 古 屋 栄	0	360,000	0	360,000	12件
西 尾	0	300,000	0	300,000	1件
岡 崎	0	150,000	0	150,000	13件
岡 崎 東	11,139	30,000	0	41,139	2件
岡 崎 城 南	0	80,000	0	80,000	3件
岡 崎 南	0	140,000	0	140,000	9件
高 浜	14,047	0	0	14,047	1件
豊 橋	0	300,000	0	300,000	1件
豊 橋 東	0	10,000	0	10,000	1件
豊 橋 北	0	30,000	0	30,000	1件
地 区 合 計	25,186	3,130,000	0	3,155,186	83件

米山記念奨学会達成クラブ報告

- ◇ 1 千万円達成クラブ 高浜ロータリークラブ
- ◇ 2 千万円達成クラブ 半田ロータリークラブ・一宮ロータリークラブ
瀬戸ロータリークラブ
- ◇ 3 千万円達成クラブ 名古屋和合ロータリークラブ・岡崎東ロータリークラブ
豊橋北ロータリークラブ

新ポール・ハリス・フェロー 7月分

深田 正義様 (岡 崎) 滝 勝夫様 (江 南) 吉川 昌夫様 (江 南)
 倉知 正憲様 (江 南) 大森 春彦様 (江 南) 大塚 祥敬様 (江 南)
 石原誠一郎様 (江 南)

◆ 計 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

山田 吉男様 田原パシフィックロータリークラブ 平成12年 8 月12日
 石田 裕幸様 三河安城ロータリークラブ 平成12年 8 月16日
 川口 治哉様 渥美ロータリークラブ 平成12年 8 月23日

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 会員数および出席報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第2760地区

平成12年7月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
南尾張分区	半 田	100	3	73	73	0	0
	常 滑	97.22	4	72	72	0	0
	東 海	94.79	4	48	48	0	0
	東 知 多	97.22	5	65	65	0	0
	半 田 南	100	4	65	66	1	0
	知 多	100	5	41	42	1	0
	6RC	98.205	25	364	366	2	0
西尾張分区	一 宮	99.38	3	85	84	-1	0
	津 島	100	4	77	78	1	0
	尾 西	97.02	4	59	60	1	0
	一 宮 北	96.26	4	72	74	2	1
	稲 沢	94.92	4	62	62	0	0
	あ ま	100	5	94	97	3	0
	西 春 日 井	100	4	60	60	0	2
	尾 張 中 央	100	4	54	54	0	0
	一 宮 中 央	95.36	4	70	70	0	5
	9RC	98.10	36	633	639	6	8
東尾張分区	瀬 戸	100	4	84	87	3	0
	犬 山	100	4	83	84	1	0
	江 南	95.22	3	73	74	1	0
	小 牧	96.66	4	74	74	0	0
	春 日 井	97.47	4	82	84	2	3
	尾 張 旭	99.15	4	59	59	0	0
	名古屋空港	97.12	5	58	60	2	0
	瀬 戸 北	100	4	71	73	2	0
	岩 倉	98.63	4	36	36	0	0
	豊山ー城北	98.72	4	44	44	0	2
	10RC	98.30	40	664	675	11	5
南名古屋分区	名 古 屋	96.72	4	215	222	7	0
	名 古 屋 西	96.97	3	140	141	1	0
	名 古 屋 南	100	4	120	121	1	0
	名古屋みなと	100	4	118	119	1	0
	名古屋東南	98.94	4	79	79	0	4
	名 古 屋 中	99.53	5	153	154	1	0
	名古屋瑞穂	98.00	3	97	98	1	0
	名古屋大須	97.29	3	92	92	0	0
	名 古 屋 栄	99.53	5	85	85	0	0
	名古屋名駅	95.90	4	111	113	2	0
	名古屋名南	98.56	4	90	90	0	17
	名古屋西南	100	3	60	60	0	8
	12RC	98.45	46	1,360	1,374	14	29

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
東名古屋分区	名 古 屋 北	98.17	4	111	113	2	0
	名 古 屋 東	99.01	5	105	106	1	0
	名古屋守山	96.84	4	79	79	0	5
	名古屋和合	100	4	108	109	1	0
	名古屋名東	100	4	82	82	0	7
	名古屋名北	98.64	4	67	67	0	5
	名古屋千種	98.81	4	70	71	1	4
	名古屋昭和	97.26	5	74	75	1	0
	名 古 屋 錦	96.98	4	57	57	0	13
	名古屋東山	96.83	3	61	63	2	0
	10RC	98.25	41	814	822	8	34
東三河分区	豊 橋	99.41	3	130	130	0	3
	蒲 郡	96.29	4	74	75	1	0
	豊 橋 北	99.25	4	110	109	-1	2
	豊 川	97.95	4	77	78	1	0
	田 原	97.05	4	70	71	1	1
	豊 橋 南	99.66	5	66	69	3	0
	新 城	95.22	4	69	69	0	0
	渥 美	91.37	4	61	61	0	0
	奥 三 河	90.96	5	37	37	0	2
	豊 川 宝 飯	98.33	4	64	64	0	0
	豊橋ゴールデン	99.34	4	76	76	0	0
	田原パシフィック	97.88	4	72	72	0	0
	豊 橋 東	100	4	50	50	0	0
	13RC	97.13	53	956	961	5	8
西三河中分区	岡 崎	99.74	4	107	109	2	0
	豊 田	98.53	3	84	86	2	0
	岡 崎 南	99.43	4	108	108	0	2
	豊 田 西	100	5	102	103	1	0
	岡 崎 東	93.20	3	97	99	2	0
	豊 田 東	99.39	4	95	96	1	0
	岡 崎 城 南	99.01	4	74	76	2	0
	豊 田 三 好	98.52	5	30	30	0	1
	豊 田 中	100	4	53	53	0	4
	9RC	98.65	36	750	760	10	7
西三河分区	刈 谷	100	5	99	100	1	0
	安 城	94.88	4	73	73	0	0
	西 尾	99.21	4	78	77	-1	1
	碧 南	99.30	4	78	83	5	0
	一 色	100	3	50	50	0	0
	高 浜	98.47	4	50	50	0	3
	知 立	98.77	4	60	62	2	0
	西尾KIRARA	97.02	4	67	67	0	0
	三 河 安 城	94.95	4	42	44	2	1
	9RC	98.07	36	597	606	9	5

地域内クラブ数 78RC	2000.7.1会員数	6,138名	増 加 会 員 数	77名
	当 月 末 会 員 数	6,203名(内女性96名)	減 少 会 員 数	12名
	当 月 平 均 出 席 率	98.15%	差 引 純 増 会 員 数	65名

各地区関係事務所の御案内

◆ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112
江南商工会館内
TEL 0587-52-5200
FAX 0587-52-5252

◆地区事務所

〒450-0002
名古屋市市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL 052-541-2760
FAX 052-541-0500

◆地区大会実行委員会事務所

〒451-8551
名古屋市西区樋の口町3-19
ウェスティンナゴヤキャッスルホテル427号
TEL 052-521-2187
FAX 052-521-2163

文庫通信

155号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕に関する資料

- ◎『「職業奉仕」会員意識調査 アンケート集計結果』 米子東R.C. [1998] 8頁
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『職業奉仕(地区のまとめ)』 D.2650 [1998] 100頁
[申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎『あなたの地域社会における職業奉仕』 R. I. 1998 42頁
[申込先: サービス・センター TEL (03)3355-5391]
- ◎『職業奉仕心得*増補版*』 瀬川茂夫 津名R.C. 1999 37頁
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『ロータリーの綱領と職業奉仕について』 漆崎義雄 D.2750 [1999] 23頁
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『「職業奉仕」の小史』 D.2660 [1999] 17頁
[申込先: 近藤浩司 FAX (06)6534-0637]
- ◎『会員事業所の経営理念(社是・社訓)集』 D.2700 [1999] 25頁
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『職業奉仕の現実的な在り方につて』 高橋堯昭 D.2790 [2000] 30頁
[申込先: D.2790 TEL (0439)55-2790]
- ◎『職業奉仕その理解と実践のために』 D.2780 2000 98頁
[申込先: D.2780 TEL (0468)20-2780]

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー文庫

表紙に寄せて

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

●書家・画家プロフィール

書: 富永奇洞

富永正明・号奇洞/篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長/文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998~1999年度江南RC会長

画: 岩田明生

岩田明・号明生/洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日会連続出品
白日賞/文部大臣賞/
現在白日会会員